

仕合わせの和



第214号

令和2年 1. 1
(毎月1日発行)



明けまして

お目出度う

ご座います

本年も、何卒宜敷く

お願い申し上げます

世界平和への願い

住職 谷川寛俊

昨年十月二十二日、天皇陛下下の「即位礼正殿の儀」が行われました。国内外から2千人が参列した中で、陛下は「ここに国民の幸せと、世界の平和を常に願い、国民に寄り添いながら憲法に則り、日本国および日本国民統合の象徴としてのつとめを果たすことを誓います」と仰いました。

上皇陛下が30年の在位の間、世界の平和を願われて世界第二次大戦の戦跡を訪れて慰霊の旅を続けられた心を引き継いで、令和の時代も、世界平和を希求してゆかれることを世界に宣言されました。

令和の新時代の目標を「世界平和」という大目標に決意されたことは、新しい時代の将来に光明が差し込んでくる思いがします。

例えば、日本には二つの大誓願があります。一つは「戦争はしないという不戦の誓願」。もう一つは「この世に人

真成寺ホームページ

<https://bit.ly/2Gz55Mz>

編集・発行
玉蓮山 真成寺
編集部 谷川久仁子

TEL・FAX 0765-22-2268

携帯 080-3744-2523

こちらの番号でも
お寺につながります。

類を滅亡させ、地球を破壊する核兵器は存在してはならないという核兵器廃絶の誓願」であります。

この二大誓願は、日本が大きな犠牲を払い、大きな苦悩を体験する中から生まれた誓願であります。日本の仏法と呼ばれるお題目の信仰も、「立正安国・世界平和」が大目標です。今こそ、全人類がこれに向かつていく時なのだと思います。

私は昨年十二月六日に皇居で一般公開されていた「大嘗宮」の建物を拝見するため、日帰りで行って参りました。興味もあり、私にとっては二度と見ることができない建築物であります。私が行った日は金曜日でした。翌々日の日曜日で終了となる一般公開でしたから、大混雑していました。

全国各地から、また外国人も多く見かけました。二時間ほどの一寸ずり、正面の鳥居の前に来た時には、皆カメラを構え写真を撮られる人も多く、大混雑ポイントでした。皇居警察や警視庁の警察官の厳重な警備の中、重々し

い空気が新鮮に感じ入りました。

世界で我が国だけが二千六百年の歴史を刻み続け皇室が継続している事実。色々賛否両論があるようですが、大変濃厚で気品に溢れる大嘗宮の空気と雰囲気味わうだけでも大きな価値があったと思っています。

天皇陛下も御即位なされる時「禊（みそぎ）」と申しまして、水を被られるそうです。真成寺で毎年開催されます【冬至水行祭・ほしまつり】において、昨年も一九九名の一般参加者が集い、本堂前でそれぞれの願いが叶うようにと水行する行為にも通じるものがあり、大変心強いものを感じました。

本年もどうぞ、よろしくお願い申し上げます。皆さま方にとって、幸せで素晴らしい一年になることを心から御祈念申し上げます。

